

令和7年度第1学年国語科年間指導計画・評価計画

	評価の観点	評価材料
観点1	知識及び技能	漢字・文法小テスト、定期考査、作品、ワークシート等課題、単元テスト
観点2	思考力，判断力，表現力	グループ討議、発表、聞き取り相互評価、聞き取りメモ、ワークシート等課題、定期考査、感想文、意見文、単元テスト
観点3	主体的に取り組む態度	授業参加状況、定期考査、漢字復習テスト、暗唱、ワークシート等の課題

週4時間 (授業者； 小泉 陽菜)

学習時期		指導計画		観点			評価時期	小学校の学習との関連
期	月	学習単元	学習内容	1	2	3		
1学期	4	・オリエンテーション	・国語の学習の目的及び評価について理解する。本を読むことの意義や図書館の活用について学ぶ。			○	7月	小学校で学んだ説明的文章、文学的文章の読解に新たな読み取り方を加えていく。 漢字の学習は、何回も書き、漢字を覚えていくことを定着させる。 伝統的な言語文化では、音読させ暗唱し、読むことに慣れていく。 書写は小学校で楷書を学んだことを活かし、さらに字形を整えていく。
		○朝のリレー ○野原はうたう 声を届ける	・詩の特徴を活かして音読する。		○	○		
	5	○はじまりの風	・登場人物の相互関係、心情の変化を描写を基に捉える。	○	○	○		
		・情報を整理して書こう	・題材を決め、材料を集め、構成を考えて書く。					
	6	・[漢字1]漢字の組み立てと部首	・漢和辞典の使い方、部首や組み立てを理解する。		○	○		
		○ダイコンは大きな根？	・段落と段落の関係に注意し、構成をとらえる。・・文章の構成に着目し、要旨を捉える。	○		○		
		○ちょっと立ち止まって	・話の構成を考え、スピーチする。		○	○		
		・話の構成を工夫しようスピーチ	・言葉のまとまりについて考える。	○		○		
		・文法への扉1	・情報の比較分類、整理の仕方について理解する。	○		○		
	7	・情報を集めよう	・描写の効果について捉え、詩を作る。	○		○		
		・詩の世界	・比喩などの表現技法を理解する。		○	○	12月	
		・比喩で広がる言葉の世界	・指示する言葉と接続する言葉について理解する。	○		○		
		・[言葉1] 指示する言葉と接続する言葉	・読書記録等を作成し、本を紹介する。	○		○		
	9	・読書を楽しむ	・時代の状況の中で揺れる人物の心情や作者の思いを読み取る。	○		○		
		○大人になれなかった弟たちに……	・情報を整理し、案内文を書く。		○	○		
		・項目を立てて書こう	・場面や描写を結びつけて読む。	○		○		
1学期	10	○星の花が降る頃に	・共通語と方言の果たす役割について理解する。		○	○		
		・[言葉2] 方言と共通語	・音と訓の違いについて理解する。	○		○		
		・[漢字2] 漢字の音訓	・記録の文章を読み、文章の構成や展開を捉える。	○		○		
		○「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	・調査を行いレポートを書く。		○	○		
	11	・根拠を示して説明しようーレポート	・話題を決め、グループでディスカッションをする。		○	○		
		・話し合いの展開を捉えるーディスカッション	・言葉の響きやリズムを味わいながら音読する。		○	○		
		○大阿蘇	・古文の響きや調子に親しむ。		○	○		
		・いろは歌 古典の世界	・古典に対する興味や関心をもち、現代とのつながりを考える。	○	○	○		
		○蓬萊の玉の枝ー「竹取物語」から	・故事成語を使って体験文を書く。					
	12	・今に生きる言葉	・筆者の考えを要約する。根拠を明確にして意見をまとめる。		○	○		
		○「不便」の価値を見つめ直す	・漢字検定に向けて学習する。	○		○	3月	
		・漢字検定に向けて	・言葉の関係について理解する。	○		○		
	1	・文法への扉2	・読書を通して筆者のものの見方や考え方を捉える。	○		○		
		・読書に親しむ	・語句や構成に注意して読み、心情の移り変わりをとらえる。	○		○		
	2	○少年の日の思い出	・単語の分類を理解する。		○	○		
		・筆者の考えや思いについて話し合う。	・体験を基に随筆を書く。	○		○		
1学期		・文法への扉3	・表現の技法を理解し、使う。					
	3	○随筆二編	・漢字の成り立ちについて理解する。	○		○		
		・構成や描写を工夫して書こう	・学習内容を振り返り、要点をまとめ発表する。	○		○		
		・[言葉3] さまざまな表現技法	・字形を整え、文字の大きさ、配列・配置などについて理解して、楷書で書くこと。		○	○		
		・[漢字3] 漢字の成り立ち	・単語の種類、用言の活用を理解する。	○		○	通年	
		・一年間の学びを振り返ろう		○		○		
		〈年間を通して〉 書写〈硬筆・毛筆〉		○		○		
		導入1 楷書4 楷書と仮名4 行書6 応用5						
		・文法						

家庭での学習方法・学習のアドバイス

- ・授業はよく聞き、考え、発信する。能動的に取り組むことが大切。相づち、つぶやきなど他者の意見に反応する習慣をつける。
- ・授業では板書、説明、考えたことや調べたことなど、学んだことを自分なりに記録する。
- ・漢字テストは事前に勉強をする。漢字の成り立ちや筆順を意識し、例文等とあわせて使い方も覚える。
- ・課題にはきちんと取り組み、提出物は必ず期限内に提出する。積み重ねが大きな成果につながる。
- ・言葉を大切にする。日頃から丁寧な言葉遣いを意識する。わからない語句は調べ、使える語彙を増やす。
- ・読書や新聞を通して様々な意見に触れ、ものの見方や考え方を広げる。

令和 7 年度 第 2 学 年 国語科 年 間 指 導 計 画 ・ 評 価 計 画

	評 価 の 観 点	評 価 材 料
観 点 1	知識・技能	漢字小テスト、定期考査、作品
観 点 2	思考・判断・表現	グループ討議、発表、聞き取りメモ、ワークシート等課題、定期考査、短歌感想文、意見文
観 点 3	主体的に学習に取り組む態度	授業参加状況、暗唱、ワークシート等の課題、提出物の達成状況

週 4 時間

担当 (大 倉 清子)

学習時期		指導計画		観 点			評価 時期	小学校の学習との関連
期	月	学 習 単 元	学 習 内 容	1	2	3		
1	4	見えないだけ	詩の表現技法の効果を知り、意味を捉え読み取る。	○	○	○	7月	小学校で学んだ説明的文章、文学的文章の読解に新たな読み取り方を加えていく。
		アイスプラネット	登場人物の設定の仕方を捉えている。	○	○	○		
		枕草子	古典に表れたものの見方や考え方を知る。	○		○		
	5	クマゼミ増加の原因を探る	文章と図表の関係に注意して、内容を読み取	○	○	○	7月	
		短歌に親しむ	短歌の特色を知り、慣れ親しむ。創作する。	○	○	○		
		短歌を味わう【短歌の創作】	近代・現代の秀歌を鑑賞し紹介する。	○	○	○		
	6	漢字1「熟語の構成」	熟語構成の型を理解する。	○		○	7月	
		【聞く】	意見と根拠を聞き分けその適切さについて判断する	○	○	○		
		文法への扉「単語をどうわけの？」	自立語の品詞と役割を理解する。	○		○		
	7	敬語	敬語の働きや種類について理解する。	○	○	○	7月	
情報整理のレッスン		情報の関係を整理する。	○		○			
情報を整理して伝えよう		題材を決め、情報を整理し明確に伝える。	○	○	○			
2	9	メディアの特徴を生かし情報を集める	メディアの特徴を理解し、情報の受け取り方を考える。	○	○	○	7月	漢字の学習は、三要素（形・音・義）を意識して、継続的に学習していく。
		魅力的な提案をしよう	資料を用いて自分の考えをわかりやすく伝える。	○	○	○		
		表現を工夫して書こう 【推敲】	自分の考えが伝わる文章になるよう工夫している。	○	○	○		
	10	言葉1「類義語・対義語・多義語」	類義語、対義語、多義語について理解する。登場人物の	○		○	7月	
		ヒューマノイド	表現の違いによる作品の印象の違いを表現する。	○	○	○		
		字のない葉書	言動から人柄や心情を読み取る。	○	○	○		
	11	漢字2「同じ訓・同じ音をもつ漢字」	同音同訓の漢字を学ぶ。	○	○	○	12月	
		モアイは語るー地球の未来	根拠のあり方について理解し、文章の構成や論理の展開を吟味する。	○	○	○		
		12	平家物語「冒頭」「扇的	古典のリズムを味わい、音読・群読に取り組む。いにしえの人の心情に触れる。	○	○		
	3	1	仁和寺にある法師「徒然草」	用言の活用形と活用の種類について、理解している。	○		○	
文法への扉2「走る。走らない。走ろうよ。」			漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。	○		○		
書写			漢詩の風景	漢詩の型を知り声に出して読む。情景を想像しいにしえの人の心情を表す。	○	○	○	
2		読書を楽しむ（ビブリオバトル）	活動を通して本の魅力を感じ今後の読書活動に生かす。	○	○	○	3月	
		君は「最後の晚餐」を知っているか	文章における具体と抽象の関係を理解し、筆者の考えを読み取る。観点を明確にして文章を比較し、その分析を基に、構成や表現の効果を考える。	○	○	○		
		「最後の晚餐」の新しさ	登場人物の人物像や表現の効果などに着目して、作品の魅力を考える。	○		○		
3		走れメロス	付属語の働きと種類を確認し、表現活動にいかす。		○	○	3月	
		文法への扉3「一字違いで大違い」	話し言葉と書き言葉の特徴を理解し効果的に使い分ける。	○	○	○		
		言葉3「話し言葉と書き言葉」	グループで作品を読み込み、原稿を作成する。	○				
4		討論 異なる立場から考える	説得力のある内容・話し方を意識して討論する。		○	○	3月	
	立場を尊重して話し合おう				○			
	〈年間を通して〉書写（硬筆・毛筆）	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。	○		○			
		導入1 行書2 行書と仮名の調和5 楷書と行書6 応用6				○	通年	

家庭での学習方法・学習のアドバイス

・分からない語句は予め調べておき、語彙を増やす。 ・授業中はよく聞く、考える、記録する、意見を述べるなどの言語活動を積極的に行う。 ・漢字テスト等の小テストは事前に予習を行ってテストに臨むようにする。解けなかった問題は必ず復習を行う。 ・課題はきちんと取り組み、提出物は完成度を高めて、必ず提出する。 ・分からないことは、授業内外問わず必ず質問に来て分かるようにする。
--

令和7年度第3学年国語科年間指導計画・評価計画

	評価の観点	評価材料
観点1	知識及び技能	漢字・文法小テスト、定期考査、書写作品
観点2	思考力、判断力、表現力	グループ討議、発表、聞き取り相互評価、聞き取りメモ、ワークシート等課題、定期考査、感想文、意見文
観点3	主体的に取り組む態度	授業参加状況、学習の振り返り、暗唱、ワークシート等の課題

週3時間

(授業者； 若山 優花)
(授業者； 露木 信子)

学習時期		指導計画		観 点			評価 時期	小学校の学習との関連
期	月	学 習 単 元	学 習 内 容	1	2	3		
1 学 期	4	○オリエンテーション	・今年度の国語の学習の目的、及び評価について理解する。				7月	小学校で学んだ説明的文章、文学的文章の読解に新たな読み取り方を加えていく。
		○わたしを束ねないで	・詩の特徴を活かして音読する。	○	○	○		
		○握手	・言葉・文字の使い方・リズム・表現技法に着目しながら詩の内容を読み深める。	○	○	○		
	5	○意見を聞き、適切さを判断する	・作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深める。	○	○	○	7月	伝統的な言語文化では今まで以上に読み慣れ、リズムを味わい、我が国の言語文化に親しみをもつ。
		○学びて時に之を習ふ	・登場人物の関係性や心情の変化を、情景描写やセリフを基に捉える。	○	○	○	7月	
		・漢文の訓読	・自分の考えと比較しながら相手の話を聞く。	○	○	○	7月	
	6	○俳句の可能性	・歴史的背景に注意して論語を読み、孔子の考え方と現代の自分たちの生き方を関連付けて考える	○	○	○	7月	漢字の学習は、三要素（形・音・義）を意識して、継続的に学習していく。
		○俳句を味わう	・俳句の特徴について理解する。	○	○	○	7月	
		○修学旅行記をつくる	・表現を工夫しながら作句し、句会を行う。	○	○	○	7月	
	7	○挨拶 一原爆の写真によせて	・修学旅行で学んだことや思い出を文章にまとめる。	○	○		7月	書写は、小学校での楷書に加え、一年生で取り組んだ行書をもとに工夫した作品を作っていく。
			・比喩や象徴的な表現に注目し、文脈の中での意味を捉える。	○	○	○	7月	
			・詩に用いられている表現の効果を評価し、現代社会の状況と重ね合わせながら考えを深める。	○	○	○	7月	
	8	○作られた「物語」を超えて	・文章における具体と抽象の関係を捉える。	○	○	○	7月	
		・思考のレッスン 具体化・抽象化	・論説の特性を踏まえて読み、文章の構成や論理の展開を評価する。					
		○文法 形容詞・形容動詞・助動詞	・活用のある品詞について学ぶ。	○			7月	
	9	○言葉を選ぼう	・情報を伝えるための工夫について理解する。	○			7月	
		〔言葉〕漢語・和語・外来語	・漢語、和語、外来語の役割について理解する。					
		○情報を読み取って文章を書こう	・文章を批判的に読み、自分の意見をもつ。	○	○	○	7月	
	10	○〔推敲〕論理の展開を整える	・文章を推敲する方法を学ぶ。	○	○	○	7月	
		○説得力のある構成を考えよう	・聞き手の心に届くように構成を考えてスピーチする。	○	○	○	7月	
		・リオの伝説のスピーチ						
	11	○和歌の世界	・古来から人々が和歌に込めてきた思いを想像しながら読み味わう。	○	○	○	12月	
		○古今和歌集 仮名序	・三大和歌集についての基本的な知識を身につける。	○	○	○	12月	
		○君待つと 一万葉・古今・新古今	・それぞれの歌風や活躍した歌人について学ぶ。	○	○	○	12月	
12	・和歌の表現技法	・松尾芭蕉のものの見方や感じ方にふれる。	○			12月		
	・俳句と俳諧	・古典を学ぶ意義について考える。	○	○	○	12月		
	○夏草 ―「おくのほそ道」から	・人間、社会、自然などについての自分の意見をまとめる。	○	○	○	12月		
1	・つながる古典	・慣用句・ことわざ・故事成語について理解し、日常生活で使えるように語彙を増やす。	○	○		12月		
	・古典名作選	・登場人物の考え方や行動を批判的に読み、作品を批評する。		○	○	12月		
	○慣用句・ことわざ・故事成語	・論説の比較を基にグループで討論し、自分の考えをまとめる。		○	○	12月		
2	○故郷	・助動詞や助詞について理解し、まぎらわしい言葉の品詞判断をできるようにする。	○			3月		
	○複数の意見を読んで、考えよう	・相手の話の展開を予測しながら聞き、対談を行う。		○		3月		
	○文法 助動詞・助詞	・目的を意識しながら話し合いを行い、よりよい結論を導くための方法を考える。		○	○	3月		
3	○聞き上手になろう	・具体的な事例を挙げるなどして、抽象的な概念への理解を深める。		○		3月		
	○〔議論〕話し合いを効果的に進める	・筆者の見方・考え方を踏まえ、言葉について自分の意見をもつ。						
	・合意形成に向けて話し合おう							
4	○それでも、言葉を							

2	○本は世界の扉	・読書を通して、自分の知識を広げる。	○	○	3月	
	○初恋	・文語体の響きを味わいながら詩を朗読する。	○		3月	
3	・温かいスープ	・文章を読み、国際社会における人と人との関係について、考えを深める。		○	3月	
	・アラスカとの出会い	・文章を読み、人との出会いや人生について、考えを深める。		○	3月	
	・律儀な桜	・文章を読み、人と自然、時とともに変わるもの、変わらないものに思いをはせる。		○	3月	
	○三年間の歩みを振り返ろう	・これまで学んできた中学国語を振り返る。	○	○	○	3月
	〈年間を通して〉					
	○漢字小テスト	・新出漢字および三年間の漢字を復習する。	○		○	
	○文法	・三年間で学んだ文法事項を復習する。	○		○	
	○書写〈硬筆・毛筆〉	・行書を中心に毛筆を学ぶ。応用作品を創作する。	○		○	

家庭での学習方法・学習のアドバイス

- ・分からない語句は予め調べておき、語彙を増やす。
- ・授業中はよく聞く、考える、記録する、意見を述べるなどの言語活動を積極的に行う。
- ・漢字テスト等の小テストは事前に予習を行ってテストに臨むようにする。解けなかった問題は必ず復習を行う。
- ・課題はきちんと取り組み、提出物は完成度を高めて、必ず提出する。
- ・分からないことは、授業内外問わず必ず質問に来て分かるようにする。
- ・自ら学習を振り返り、成果と課題を把握して、次の学習につなげる努力をすること。